

承認番号：NDU-T2020-33

研究課題名：口腔機能と不正咬合の関連性についての検討

主任研究者（所属・職位・氏名）：矯正歯科・准教授・小林 さくら子

分担研究者（所属・職位・氏名）：矯正歯科・非常勤歯科医師・大原 千明

## 1. 研究概要

### 1) 研究の意義：

近年、小児の口腔機能の発達不全や高齢者における口腔周囲機能の低下が社会的な問題となっている。小児における口腔機能発達不全や口腔習癖は正常な成長発育を阻害し、不正咬合を引き起こすとともに、矯正治療を行う上で妨げともなると言われている。これまで吸指癖や舌癖など特定の機能的要因と不正咬合との関連についての報告は多くされているが、小児の不正咬合者がどの程度口腔機能に問題を有するかについての研究および調査はほとんど行われていないため、その関連性について検討を行う。

### 2) 研究の目的：

本研究では矯正歯科に来院した早期治療患者において、不正咬合の割合とそれぞれの不正咬合と口腔機能（口腔習癖・呼吸・咀嚼機能・嚥下機能など）との関連性を調査し検討することを目的とする。

## 2. 研究方法

### 1) 研究対象者：

2021年4月以降に日本歯科大学附属病院矯正歯科に受診し、本研の同意が得られた早期矯正治療を開始された方

### 2) 研究期間：2021年4月1日から2022年3月31日まで

### 3) 方法：

初診時の調査票、カルテ、診断時検査資料および追加のアンケート調査票より口腔周囲の機能的問題の有無やその種類、不正咬合との関連について調査する。

### 4) 使用する試料・情報の項目：

試料：頭部エックス線規格写真、オルソパントモグラフィ、顎関節エックス線写真、顔面写真、口腔内写真、口腔模型

情報：追加アンケート

### 5) 情報の管理方法と保護：

患者の個人情報の取り扱いには十分に注意し、関連する法規制等を遵守して、漏洩、紛失または不用意な開示などが為されないように患者名を匿名化する。具体的に

は、個人情報として性別、年齢、それぞれの資料から評価したデータを取得した後、性別と年齢を番号で匿名化し対応表を作成する。研究資料として用いる顔面写真については、研究者は個人情報を開示せず写真から評価した記録のみを使用する。さらに、個人情報の入ったデータと連結表は別の記録メディアに記録し、鍵のかかるデータ保存庫で管理する。個人情報に関わるデータや顔面写真は、保存の必要が無くなったら適切に廃棄する。データはデジタルバックアップ等を含め消去し、紙媒体はシュレッダーによる裁断・焼却を行う。

### **3. 研究に関する問い合わせ・連絡先**

氏名：大原 千明

連絡先：03-3261-4753